

令和4年12月23日

校長室だより

今年度第7号(通算28号)

座間市立相模中学校
校長 金子 憲勝



3年ぶりに開催された「青少年フェスティバル」

相模中学校区の「青少年フェスティバル」が、3年ぶりに先週の土曜日（17日）に開催されました。本校の生徒だけではなく、相模野小学校や相模が丘小学校の児童も多数参加し、大人や幼児も含めて幅広い年齢層の方々が楽しい時間を過ごすことができました。以前配付した校長室だより書いたとおり、感染症の影響を受けて本校の生徒の大多数が地域の行事に参加する機会がなくなり、地域の方々との交流が極端に少ないことが分かりました。そこで、生徒の社会性や地域への愛着心を育みたいと考え、何度も話し合いを重ねて今回のイベントを開催することができたので、関係者の皆様は大変喜んでおられました。半年以上も前からこの企画を考えてくださった青少年指導員やコミュニティ・スクールの関係者の皆様に、心より感謝したいと思います。なお、学校ホームページにイベントの様子を掲載していますので、都合の良い時にご覧いただければ幸いです。

豊かな心を育むひまわりプラン～郷土の先人に学ぶ～

私は、昨年度から座間市教育委員会が現在改訂を行っている「豊かな心を育むひまわりプラン」の改訂委員会の一員として、検討会に参加しています。座間市においては、この「豊かな心を育むひまわりプラン」の中に書いてある「豊かな心の育成」に平成23年度から取り組み10年以上が経過したので、改訂作業を行っています。以前は、『十年一昔』（世の中は移り変わりが激しく、十年も経つともう昔のことになってしまう）と言われていましたが、現在は『十年二昔』や『十年三昔』のように感じる程、世の中の移り変わりが早くなっています。そこで、ひまわりプランの改訂を行っているのですが、時代が変わっても子どもを育てるうえで「学校」「家庭」「地域」の連携は不可欠なので、その点は今後も大切にしていきたいです。

また、座間市教育委員会は、この「豊かな心を育むひまわりプラン」に関連して、『郷土の先人に学ぶ』という道徳の副読本を作成し、小学6年生や中学生に配付しています。今回、この副読本を冬休み中にお子様が持ち帰りますので、よろしければ保護者の皆様も少しでもお読みいただければ嬉しいです。（右の写真が、「郷土の先人に学ぶ」です⇒）

裏面に、座間市教育委員会が作成したパンフレットを掲載しますので、どうぞご覧ください。



新しい年に向けて・・・

明日から冬休みに入るので、私は今日の終業式で「新しい年に向けて、夢や目標を考えてください！」と話をしました。今年は、大変嬉しいことに多くの生徒が多方面で表彰され、相模中学校の生徒への評価が大変高い年でした。生徒一人一人が、日々落ち着いて学校生活を送り、夢や目標に向けて努力している結果として、素晴らしい成果を上げることができました。まだ、夢や目標を見つけられていないという生徒もいますが、夢や目標について考えることが大切なので、ゆっくりで良いので夢や目標について考えて欲しいと思います。



皆様、今年も大変お世話になり、誠にありがとうございました。令和5年(2023年)が、皆様にとって幸多い年になることを願っております。良い年をお迎えください！！